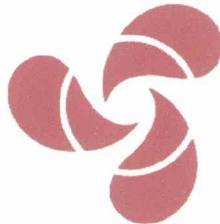


2021 年度 事業報告書・収支決算書

期間：2021年4月1日～2022年3月31日



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター

<目次>

はじめに	2
I. 事業報告	4
II. 講師派遣・各種委員会等	18
III. 法人の運営に関する事項	20
IV. 2021年度 決算報告書	24

はじめに

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡邊一馬

せんだい・みやぎNPOセンター（以下、当センター）の2021年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染予防対策をしつつ、2019年に掲げた3ヶ年の中期計画に基づき、大きく4つの活動に取り組んでまいりました。

コロナ禍への対応と状況の変化に合わせて、中期計画で掲げた項目のうち、実現できなかったものもありましたが、仙台市と多賀城市の市民活動サポートセンターの運営と2020年度に立ち上げた「せんだい・みやぎソーシャルハブ（以下、ソーシャルハブ）」の活動を維持・発展することができました。当センター職員の日々の活動と、会員のみなさまからのご支援に、厚く御礼申し上げます。

1つ目の「サポートセンター運用業務の深化」は、仙台市と多賀市の市民活動サポートセンターの運営等を中心に、市民活動の裾野の拡大を目指して活動しました。感染症対策の関係で来館者数はコロナ禍以前の2018年度と比べると少ないものの回復傾向にあり、また、相談件数は前年同様増加しました。市民活動の伴奏者（伴走者）として、市民に認知されてきていると感じています。仙台市市民活動サポートセンターでは、古くなっていた受付業務管理システムの改修を行いましたので、今後はその運用を本格化していきます。

2つ目の「地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進」は、ソーシャルハブの運営を中心に活動を行いました。「学生・若者の社会的孤立」に対する支援活動など、ソーシャルハブの取り組みから生まれた活動は引き続き行われたものの、2021年度は具体的な活動がソーシャルハブからスタートすることはありませんでした。これは、課題が外から持ち込まれるのを待つばかりで、自分たちから地域に出向き、課題の発掘や新たに参加する主体を増やす取り組みが足りませんでした。この反省を踏まえ、市民や地域と対話できるソーシャルハブの体制を実現するため、各種助成金の申請に挑戦し、2022年度は日本財団の助成をいただくこととなりました。

3つ目は「組織基盤強化に向けた取り組み」です。2021年度は、理事会に新たなメンバーが加わり、そして、副代表理事を2人置くことができました。また、2020年度に策定した価値規範「旅の約束」の運用もはじまりました。組織基盤強化として、何よりも大きかったのは、新しい中期計画を職員主導で策定を進め

ることができたことです。前回の中期計画は、代表理事や理事会主導で策定したこと、現場の理解が深まるまでに時間がかかりましたが、今回は全職員の意見交換を何度も繰り返したことで、法人としての方向性と現場の事業との連関を強くすることができました。

最後は「情報発信事業」です。コロナ禍でインターネットの活用が進み、各サポートセンターのブログやYouTubeの閲覧者が増加しました。また、当センターのニュースレター「みんみん」も引き続き発行し、WEBサイトからも閲覧いただいている。河北新報夕刊で連載している市民活動の紹介「志民の輪」も続いています。

2022年度は、人と会い、対話することを増やします。

感染症対策や長引く不況によって、孤立が深まっている今だからこそ、私たちが人と会い、対話することが大切です。一人ひとりの想いに耳を傾け、実現したい未来を考えていきます。それには、会員のみなさまのご協力が不可欠です。引き続きのご支援、ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

2022年 6月18日

I. 事業報告

事業名	分類	(1) サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条（活動の種類と事業）2項																																				
	令和3年度 仙台市市民活動サポートセンター管理運営業務		(1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業																																				
目的	'仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例'の基本理念に基づく協働によるまちづくりを推進するために、仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営を行う。																																						
	<p>仙台市市民活動サポートセンター(以下、仙サポ)は、新たな指定管理期間(令和2~6年度)に入り、地域の問題が市民や関係機関との協働により可視化され、可視化された課題を解決できるプロジェクトが次々と生まれ、企業も含む多様な市民が課題解決に参画している状態を目指していくことを掲げた。</p> <p>1. 令和3年度施設運営(2021年4月1日～2022年3月31日)</p> <p>(1) 実績</p> <p>総利用件数／人数 9,700件(前年度比116%)／24,583人(前年度比118%) 年間利用団体数 826団体(貸室・フリースペース404団体、相談548団体) 相談件数 845件(前年度比124%) うち活動相談305件(前年度比97%)</p> <p>(2) 概略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本機能(施設利用、情報収集提供業務、相談機能) ・新型コロナウイルスの影響(臨時休館・利用休止、人数制限、および団体の活動自粛等)により、利用件数・利用人数はコロナ禍前より減少(件数6割以下、人数4割程度)。 利用休止:2021年3月27日～5月11日、8月30日～9月12日 開館時間短縮:2021年8月20日～8月31日、9月13日～9月30日 ・情報収集提供業務では、新型コロナウイルスに関する支援情報などについて、速報性を意識し頻繁にブログを更新(投稿記事数399件。前年度比99%)。ブログの訪問者(ユニークユーザー:UU)は前年度比120%の69,073件。閲覧数(ページビュー:PV)は前年度比118%の918,717件と大きく增加了。 ・相談は施設利用の問い合わせも含めた全相談件数は845件と前年より増加したが、活動相談は305件とわずかに減少。前年度120件あった新型コロナウイルスに関連した相談は43件と減少。市民活動の中にも新型コロナウイルス感染対策が定着し、活動を再開していることがうかがえる。 																																						
実施概要	<p>2. 令和3年度事業運営</p> <p>(1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施事業</th> <th>主な実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">情報収集提供事業</td><td colspan="2">市民活動、協働等に関する情報収集提供業務全般</td></tr> <tr> <td colspan="2">機関誌『ぱれっと』の発行</td></tr> <tr> <td>市民ライターの育成</td><td>ローカルメディアコンパス(講座・ワークショップ) 6回 27人参加</td></tr> <tr> <td rowspan="2">相談事業</td><td colspan="2">アウトリーチ相談(アシ☆スタ等)</td></tr> <tr> <td colspan="2">協働相談(市民協働事業提案制度事前相談等)</td></tr> <tr> <td rowspan="3">人材育成事業</td><td>支える市民を増やす</td><td>いづいいちちゃんねる 4回 76人参加</td></tr> <tr> <td colspan="2">相談・事業参加者フォローアップ(後追い)</td></tr> <tr> <td colspan="2">若者の人材育成に資する事業への協力</td></tr> <tr> <td rowspan="4">協働に関する理解促進及び機会創出事業</td><td>協働事例の発掘・理解促進</td><td>協働の現場トーク 動画再生 176回 ※2022年5月20日時点</td></tr> <tr> <td>協働の基礎知識(動画)</td><td>はじめての協働 動画再生 136回 ※2022年3月31日時点</td></tr> <tr> <td>多様な主体の交流の場</td><td>マチノワフライデー 6回 59人参加</td></tr> <tr> <td>社会課題解決のプラットフォーム</td><td>オンライン情報交換会 11回 128人参加</td></tr> <tr> <td rowspan="2">調査研究事業</td><td colspan="2">多様な主体の参加による協働体制の構築</td></tr> <tr> <td colspan="2">企業の社会貢献活動に関するヒアリング</td></tr> </tbody> </table>			実施事業		主な実績	情報収集提供事業	市民活動、協働等に関する情報収集提供業務全般		機関誌『ぱれっと』の発行		市民ライターの育成	ローカルメディアコンパス(講座・ワークショップ) 6回 27人参加	相談事業	アウトリーチ相談(アシ☆スタ等)		協働相談(市民協働事業提案制度事前相談等)		人材育成事業	支える市民を増やす	いづいいちちゃんねる 4回 76人参加	相談・事業参加者フォローアップ(後追い)		若者の人材育成に資する事業への協力		協働に関する理解促進及び機会創出事業	協働事例の発掘・理解促進	協働の現場トーク 動画再生 176回 ※2022年5月20日時点	協働の基礎知識(動画)	はじめての協働 動画再生 136回 ※2022年3月31日時点	多様な主体の交流の場	マチノワフライデー 6回 59人参加	社会課題解決のプラットフォーム	オンライン情報交換会 11回 128人参加	調査研究事業	多様な主体の参加による協働体制の構築		企業の社会貢献活動に関するヒアリング	
実施事業		主な実績																																					
情報収集提供事業	市民活動、協働等に関する情報収集提供業務全般																																						
	機関誌『ぱれっと』の発行																																						
	市民ライターの育成	ローカルメディアコンパス(講座・ワークショップ) 6回 27人参加																																					
相談事業	アウトリーチ相談(アシ☆スタ等)																																						
	協働相談(市民協働事業提案制度事前相談等)																																						
人材育成事業	支える市民を増やす	いづいいちちゃんねる 4回 76人参加																																					
	相談・事業参加者フォローアップ(後追い)																																						
	若者の人材育成に資する事業への協力																																						
協働に関する理解促進及び機会創出事業	協働事例の発掘・理解促進	協働の現場トーク 動画再生 176回 ※2022年5月20日時点																																					
	協働の基礎知識(動画)	はじめての協働 動画再生 136回 ※2022年3月31日時点																																					
	多様な主体の交流の場	マチノワフライデー 6回 59人参加																																					
	社会課題解決のプラットフォーム	オンライン情報交換会 11回 128人参加																																					
調査研究事業	多様な主体の参加による協働体制の構築																																						
	企業の社会貢献活動に関するヒアリング																																						

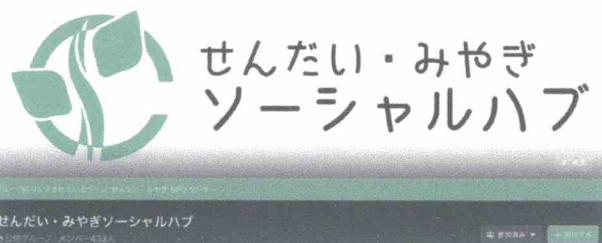
実施概要	<p>(2) 概略</p> <p>①情報収集提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の情報取扱件数は2,767件で前年度比120%。コロナ禍における感染症対策が定着したこと、安全対策を施した上でイベント開催の増加やオンラインでのイベント開催が増加したことを背景に、チラシ・ポスターの取扱件数が増加した。(チラシ前年度比142%、ポスター前年度比112%) ・令和2年10月から始めたイベント情報掲示板(WEB掲載+協力施設へのチラシ配架)は366件の利用があり、WEB+施設配架が226件と全体の62%。WEB掲載のみ希望87件(24%)、施設配架のみ希望53件(14%)。WEBでの広報希望が9割近くを占め、主流となっている。 <p>②相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度120件あった新型コロナウイルスに関連した相談は43件と減少し、個人からの立ち上げ相談、市民活動団体からの資金調達(クラウドファンディングや助成金申請に係る相談)などが多くみられるようになってきた。 ・企業からの活動相談が前年度の16件から31件へほぼ倍増した。仙台市の「地域づくりパートナープロジェクト推進助成」の企業からの事前相談が増加した他、社会貢献活動を始めたい、他社の社会貢献事例を知りたい、社会貢献活動の受け入れ先となる市民活動団体を探しているという相談も寄せられた。 <p>③人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談者や事業参加者を対象に、その後の変化を後追いし、次のステップを後押しするフォローアップを行った。84件で、相談後・事業参加後に何らかの変化・行動が確認された。変化の一例としては、講座受講が団体のオンライン化を後押しした事例、思いの整理からNPO法人化までサポートセンターが伴走した事例、活動の課題解決のため他機関とのコーディネートを行った事例など。 <p>④協働に関する理解促進及び機会創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんだい・みやぎソーシャルハブオンライン情報交換会(全11回開催)にのべ128人が参加。市民活動団体、起業家、大学関係者、市議会議員、行政職員など、さまざまな立場の人々が活発に意見交換を行う場を提供できた。 <p>⑤調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会課題解決プラットフォーム「せんだい・みやぎソーシャルハブ」の事務局について協働による運営体制を継続。社会課題を市民の手で調査分析・可視化するソーシャルラボ機能の運用も開始した。
成果	<p>①オンライン・動画の活用</p> <p>ブログでの積極的な情報発信を始め、オンラインでの情報交換会の実施、動画配信などを行った。ブログの訪問者が前年度比120%と増加。協働の基礎知識を伝える動画コンテンツは130回以上の再生が確認された。過去に開催した協働の基礎知識を伝える講座は、10名以下の受講者数だったことを考えると、動画コンテンツにしたことで広がりが生まれた。</p> <p>②市民活動団体・市民への相談対応</p> <p>年間利用団体数の内訳をみると、貸室・フリースペース404団体、相談548団体ということで施設利用団体数を相談利用団体数が上回っている。相談者や事業参加者の後追いを丁寧に行った結果、相談後・事業参加後に何らかの変化が起こっていることも確認できた。</p>
課題	<p>①「多くの人が利用する施設」から「多様な利用の仕方ができる施設」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により「新しい生活様式」への転換が進む中で、市民活動や協働の様式も変化がみられ始めている。貸室やフリースペースといった施設の利用件数・利用人数が減少した一方、ブログの訪問者数は増加を続けており、利用団体数の内訳は施設利用団体数を、相談利用団体数が上回った。オンライン化の普及が進めば、今後さらに施設を利用する人数は減少することが予測されるが、人数の減少が、必ずしも市民活動の縮小・停滞を意味するわけではない。変化する市民活動の様式に対応した、多様な利用の仕方ができる施設への生まれ変わりが求められる。
備考	担当課:仙台市市民協働推進部市民協働推進課

事業名	分類 （1）サポートセンター運用業務の深化 令和3年度 多賀城市市民活動サポートセンター管理運営業務	定款 第4条（活動の種類と事業）2項 (1) 人材の発掘と育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業 (6) 情報サポート事業
目的	多賀城市との協働により、市民活動支援を中心に幅広い地域づくりの促進を目的とする公共施設の運営を通して、多賀城市を中心とした地域における市民活動の発展と活性化を図り、市民自治を強化する。	
実施概要	<p>多賀城市市民活動サポートセンター（以下、TSC）は2008年6月開館。市民活動の拠点施設として、NPOや自治会・町内会、生涯学習団体等による地域づくりをサポートしている。令和2～4年度3年間業務委託の2年目にあたる。</p> <p>●令和2～4年度施設運営方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目指す多賀城のまちの姿 <ul style="list-style-type: none"> ・共通する課題や手段ごとに、自治会・町内会、NPO、企業、学校、行政等のさまざまな主体が連携している。 ・さまざまな年代の方が、多様な方法で地域に関わっている。 →それによって、防災、高齢者、障がい者、子育てなど、地域のさまざまな課題が自治の力によって解決されている。 ○3年後（令和4年度末）の姿 <ul style="list-style-type: none"> 5つ程度の現状の枠を超えた動きが出ている。 複数の動きでは、成果が見え始めていることにより、新たな連携が生まれたり、成果が出ている動きに他の主体も参加し始めたりしている。 <p>●令和3年度の主なトピック</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍でも必要とされている情報を届け続ける ○市民活動の多様な入口を示して活動につながる ○多様な主体による連携が広がる <p>【利用者数等】</p> <p>総利用件数 4,462件（前年度比 115.1%） 総利用人数 18,893人（前年度比 121.7%） 相談件数 358件（前年度比 98.6%）</p> <p>→前年度に比べ利用は戻りつつあるが、コロナ禍前の前々年度（平成31年度）と比較すると総利用人数は73.4%にとどまっている。一方、ウェブサイト訪問者数は前年度比118.5%、ブログ訪問者数は前年度比121.2%と、前年度を上回るだけでなくここ数年で最も多くなっており、市民活動に関する情報収集が行われていたことがうかがえる。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症による影響</p> <p>8月20日～9月12日 貸室・フリースペース利用を20時までに短縮 8月27日～9月12日 貸室の新規申込停止、フリースペース利用不可 9月13日～9月30日 貸室・フリースペース利用を20時までに短縮</p> <p>【事業実施状況】</p> <p>67本実施 参加者数：のべ1,098名 参加団体：78団体（共催含む） ◎うち、オンライン会議システム活用による企画は21本で、218人・36団体が参加</p> <p>（1）地域の担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雑貨市 市内公共施設で実施した「おでかけミニ雑貨市」や展示も含め、多くの市民に市民活動や社会課題にアプローチする機会を設けた。「クリスマス雑貨市」は規模縮小により、団体と来場者のコミュニケーションがまんべんなく図られる効果が得られた。 ②いちから塾 「NPOいちから塾」2回、初めて実施した「ボランティア講座」「NPOこれから塾」、町内会や学校等への「出前いちから塾」5回等を通して、市民活動に参加するステップや入口を多く示した。 	

実施概要	<p>③自己分析とパワーアップ事業 「NPO・市民活動運営なんでも相談会」「想いが届く情報発信相談会」「生き生きと活動する仲間づくりのカギ」講座、「市民活動お役立ち情報」の4テーマを改訂。</p> <p>(2)自治会・町内会支援事業 まちの歩みと魅力を知り発信する実践2回、「水辺の防災」「コロナ禍の情報発信」「地域の人材発掘」をテーマにした情報交換会、町内会相談会、ヒアリング、ブログや動画での情報発信。</p> <p>(3)連携による課題解決を進める事業 ・防災×インクルーシブなまちをテーマに、TSR会議、SUP体験とまち歩き、ワークショップを実施。 ・子ども防災の日をつくる会に協力し、多セクターによる会議、保育園の避難訓練、親子ワークショップ実施。 ・多文化共生事業(共催)では外国人技能実習生サポートー育成講座(全2回)、正月遊びなどの交流会を2回実施。キーパーソンによるアイデア会議を7回実施。</p> <p>(4)情報発信事業 ①フリーペーパー「tag」発行(2,000部発行) ・A3・2つ折り、季刊発行。 ②コロナ禍における市民向け情報発信事業 ・YouTube チャンネルでTSCの紹介、団体紹介、事業内容からの情報提供等の動画6本公開。</p>
成果	<p>(1)地域の担い手育成 ・ボランティア入門講座および、NPOいちから塾のステップアップ講座の開催等により、「活動を立ち上げる」「ボランティアで活動に参加する」「寄付や買い物で活動を応援する」など、市民活動に関わる多様な入口を示すことができた。このことで、講座参加者がボランティアとして活動したり、団体に寄付するなどのアクションにつながった。 ・NPOパワーアップ事業では、講座等への参加によって、情報発信、会員拡大等の団体の運営課題の改善に向けて具体的な動きにつながった。 ・町内会の課題となっているテーマをもとに交流し考える場を持つことにより、好事例を地域に共有し、今後の取り組みにつなげるタネをまくことができた。そこから市民活動団体や学生などセクターを越えた交流の機会をつくることもできた。また、新聞づくりやまちあなど具体的なアクションが生まれた。 ・ボランティア講座参加者が雑貨市でボランティアとして活動したり、町内会向け情報交換会で出た好事例を連携事業の場で共有するなど、事業を越えての取り組みを効果的にできた。</p> <p>(2)連携による課題解決を進める ・これまでの取り組みをきっかけに、多文化共生や防災の取り組みなど多様な主体の関係性をつくり、実践することができた。また、TSCが主体となって取り組むだけでなく団体間のコーディネートを行い、団体が中心となって活動を進める事例も出てきた。</p> <p>(3)情報発信 ・動画でTSCの利用方法や事業に参加した団体の活動事例などを紹介することで、事業に参加しなかった層に対して情報を提供することができた。</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動や課題を知る・興味を持った市民に、何らかのアクションを起こすなどのステップアップにつなげていくこと。 ・オンライン・対面それぞれのメリットを活かしつつ、参加者同士で話すことによって団体や活動について知ったり、仲間づくりや団体間の連携へと発展していくような工夫が必要。 ・担い手不足の解消のひとつの手段として、参加する入口や関わりしろをさらに多く示していくこと。 ・連携のメリットを市民活動団体や自治会・町内会、企業や行政、学校などに知ってもらい、各団体の実践につなげるために取り組みのポイントの整理や、発信の強化に努める。 ・YouTube をうまく活用し、ブログ閲覧者よりも幅広い年齢層・市民への情報発信を進める。
備考	<p>詳細は、ウェブサイト【https://www.tagasapo.org/】に掲載している報告書をご確認ください。 担当課:多賀城市総務部地域コミュニティ課</p>

事業名	分類	(1)サポートセンター運用業務の深化	定款 第4条（活動の種類と事業）2項 (1)人材の発掘・育成に係る事業 (2)相談・コーディネート事業 (3)マネージメントサポート事業 (4)ネットワーキング事業 (5)調査研究および政策提言事業 (6)情報サポート事業		
	令和3年度 岩沼市市民活動サポートセンター運営支援事業				
目的	岩沼市市民活動サポートセンターの運営支援を行い、市民の参画による協働のまちづくりを推進する。				
市民活動サポートセンターの運営についての助言、相談員派遣、市民向け講座を実施した。					
1. 市民活動サポートセンターの運営相談、情報、資料提供等					
実施概要	実施日	助言等の内容			
	1 令和3年4月9日(金)	展示団体への諸注意(団体自身で展示作業を行うことなど)について、他施設での対応などを紹介			
	2 5月14日(金)	『いわサポ通信』の紙面にて市民活動相談コーナーの掲載を検討			
	3 6月11日(金)	なかま交流プラスの企画について意見交換			
	4 7月9日(金)	なかま交流プラス・NPO向け研修会について、具体的な内容を検討			
	5 9月10日(金)	施設の感染対策と、マスク非着用の団体について情報共有			
	6 10月8日(金)	団体へのメール配信について情報の取扱いを提案 町内会向けの取り組みとして、他市町村の事例を紹介			
	7 11月12日(金)	市民活動助成金の見直しや、令和4年度事業について意見交換			
	8 12月10日(金)	印刷機の受付方法について、他施設の受付方法などを紹介			
	9 令和4年1月14日(金)	市民交流プラザ運営協議会で出た意見(月の利用回数制限、年間予約不可など)について、設置検討会などからの経緯を説明			
	10 2月10日(木)	休館を伴わない感染対策について、他市町村の対応を情報共有			
	11 3月11日(金)	市民活動助成金の見直しについて現状で可能な見直しを提案			
2. 市民活動サポートセンター主催事業の運営に関するアドバイス					
(1)市民活動登録団体交流会「なかま交流プラス」:団体向け講義、交流会進行を担当 日時:令和3年11月12日(金)13:30~15:00 会場:いわぬま市民交流プラザ					
(2)「岩沼市市民活動助成金説明会」:出席・相談対応 日時:令和3年6月11日(月)13:30~14:30 会場:いわぬま市民交流プラザ					
(3)『いわサポ通信』:「教えて、相談員さんコーナー」への原稿寄稿 第11号「助成金」、第12号「助成金申請のコツ」、第15号「会員を増やしたい」					
3. 市民、団体からの相談業務					
(1)ミニ研修会「コロナ禍における活動のヒント」 日時:令和3年10月8日(金)13:30~14:00 会場:いわぬま市民交流プラザ					
(2)市民活動相談会(年6回実施) 年間9件の市民、団体からの相談に対応。相談内容は、立ち上げ相談、資金調達・助成金相談、会員募集、コロナ禍での活動について等。					
4. スタッフ研修					
①令和3年6月22日(火)14:30~15:30 機関誌作成(目的・ターゲットの策定、レイアウト、著作権) ②令和4年3月11日(金)15:30~16:30 令和3年度事業のスタッフ振り返りに同席し意見交換					
成果	①機関誌作成の研修や助言を通して、スタッフから「編集会議を持ちたい」との提案があり、2種類の機関誌について編集方針や進捗確認をする編集会議を開設。機関誌編集の効率化につながった。 ②コロナ禍での活動に関するミニ研修会を実施し、団体からの相談につなげることができた。				
課題	前年度より相談件数は増加したが、まだ年間で一桁の相談数にとどまっている。立ち上げ相談や会員募集の相談が寄せられていることから、これから市民活動を立ち上げる人や参加する人を増やして、岩沼市内で市民活動の層を厚くしていく必要がある。				
備考	担当課:岩沼市さわやか市政推進課				

事業名	分類 (2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項(6) 情報サポート事業																																																				
目的	社会課題解決のプラットフォームの運用																																																					
実施概要	<p>仙台・宮城の市民活動支援や他セクターの協働を生み出す</p> <p>「せんだい・みやぎソーシャルハブ」として、2020年5月にフェイスブックに情報交換用のグループページを立ち上げた。昨年に引き続きコロナ禍の情報共有や支援策、そして、コロナ禍で明らかになった社会課題の検討を進めた。</p> <p>運営は、一般社団法人パーソナルサポートセンター、特定非営利活動法人都市デザインワークス、当センターの3団体が連携して行っている。</p>																																																					
	<p>1. オンライン情報交換会の運営</p> <p>コロナ禍での対応をテーマに「せんだい・みやぎソーシャルハブ」として、情報交換会や特定テーマを深掘りする勉強会を開催した。定例会と勉強会あわせて11回、のべ128人の参加があった。なお、昨年は24回、のべ319人であったが、今年度は1回あたりの参加者が減る結果となった。</p> <p>参加者は、NPOや一般社団法人スタッフ、市民活動団体が主で、学生、大学の教員、研究者、市議会議員、行政職員などの参加者もあった。</p> <p>2. 情報発信</p> <p>①フェイスブックグループページの開設</p> <p>社会課題について情報交換できる場としてフェイスブックグループページを開設。</p> <p>2022年3月末時点では参加メンバーは約420名。オンライン情報交換会の開催告知に活用している他、参加メンバーそれぞれから、気になったニュースの共有、助成金情報の提供、オンライン情報交換会に関連したテーマの補足情報、オンライン情報交換会から立ち上がったプロジェクトの進捗状況、データの共有などが行われている。</p>																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日時</th> <th>テーマなど</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2021年4月1日(木)19:00～20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月12日(月)19:00～20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月26日(月)19:00～20:00</td> <td>定例情報交換会</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6月4日(金)19:00～20:15</td> <td>第1回勉強会「多賀城市の試み」</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6月28日(月)19:00～20:15</td> <td>第2回勉強会「多賀城市的試み」</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7月29日(木)19:00～20:15</td> <td>第3回勉強会若年女性への支援</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>9月2日(木)19:00～20:15</td> <td>定例情報交換会</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9月29日(木)19:00～20:15</td> <td>第4回勉強会若者向けCFW事業</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11月8日(月)19:00～20:15</td> <td>定例情報交換会</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月23日(木)19:00～20:15</td> <td>定例情報交換会</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>2022年3月1日(火)19:00～20:30</td> <td>定例情報交換会</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>128人</td> </tr> </tbody> </table>			日時	テーマなど	参加者	1	2021年4月1日(木)19:00～20:00	定例情報交換会	10人	2	4月12日(月)19:00～20:00	定例情報交換会	8人	3	4月26日(月)19:00～20:00	定例情報交換会	8人	4	6月4日(金)19:00～20:15	第1回勉強会「多賀城市の試み」	14人	5	6月28日(月)19:00～20:15	第2回勉強会「多賀城市的試み」	8人	6	7月29日(木)19:00～20:15	第3回勉強会若年女性への支援	18人	7	9月2日(木)19:00～20:15	定例情報交換会	12人	8	9月29日(木)19:00～20:15	第4回勉強会若者向けCFW事業	19人	9	11月8日(月)19:00～20:15	定例情報交換会	5人	10	12月23日(木)19:00～20:15	定例情報交換会	11人	11	2022年3月1日(火)19:00～20:30	定例情報交換会	15人			計	128人
	日時	テーマなど	参加者																																																			
1	2021年4月1日(木)19:00～20:00	定例情報交換会	10人																																																			
2	4月12日(月)19:00～20:00	定例情報交換会	8人																																																			
3	4月26日(月)19:00～20:00	定例情報交換会	8人																																																			
4	6月4日(金)19:00～20:15	第1回勉強会「多賀城市の試み」	14人																																																			
5	6月28日(月)19:00～20:15	第2回勉強会「多賀城市的試み」	8人																																																			
6	7月29日(木)19:00～20:15	第3回勉強会若年女性への支援	18人																																																			
7	9月2日(木)19:00～20:15	定例情報交換会	12人																																																			
8	9月29日(木)19:00～20:15	第4回勉強会若者向けCFW事業	19人																																																			
9	11月8日(月)19:00～20:15	定例情報交換会	5人																																																			
10	12月23日(木)19:00～20:15	定例情報交換会	11人																																																			
11	2022年3月1日(火)19:00～20:30	定例情報交換会	15人																																																			
		計	128人																																																			



URL <https://www.facebook.com/groups/1177363749292548/>

②noteでの情報発信

「せんだい・みやぎソーシャルハブ」で得られた知見や情報を市民に公開する目的でnoteを作成、オンライン情報交換会の報告や関連情報を掲載した。<https://note.com/socialhub>

実施概要	<p>① 地域社会課題の勉強会</p> <p>オンライン情報交換で社会課題解決のタネが生まれるように、テーマにあわせたゲストを招いた勉強会を開催した。第1回目と2回目は、生理の貧困に対応した多賀城市的取り組み、3回目は若年女性への支援、そして4回目は若者の就業支援について話題提供と情報交換を行った。若年女性支援に関しては、2022年度も引き続きテーマとして扱う予定。</p> <p>②企業へのヒアリング</p> <p>社会課題解決への企業の参画を促進するために必要な要因を探るために、企業へのヒアリングを実施した。全国的企業の東北もしくは仙台支店の取り組みや、地元大手企業などと意見交換を行った。今後も引き続き情報交換を行い、地域課題に対する企業側の参画を促していく。</p> <p>③先進的な事例の収集や研究(ラボ)</p> <p>顕在化していない課題の収集や、先進的な事例の収集を進めるために、調査・研究する試み「ラボ」活動を実施。上記勉強会で取り上げた多賀市の事例を可視化し、情報交換会やフェイスブックなどで活用するとともに、多賀市の担当にも進呈し、課題解決事例として活用しやすくした。また、子どもの居場所づくりと学習支援に取り組む若者団体「manaco」の取り組みもヒアリングし、活動の可視化の支援を行った。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場に継続的に参加するメンバーが増え、ネットワークの形成が進んでいる。 これまでの実績が認められ、2022年度の(公財)日本財団の助成事業に採択された。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ラボの活動を続けるための体制整備が必要 情報交換の場に参加するメンバーが固定化されてきており、新たな参加者が参加できるような環境整備(情報発信や事前の声掛けが必要)
備考	

事業名	分類 (2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進	定款 第4条（活動の種類と事業）2項 (4) ネットワーキング事業
目的	資源の仲介・提供に関する事業	
実施概要	<p>地域のNPOが必要とするさまざまな経営資源を企業・各種団体・市民など社会一般から集め、それをNPOに仲介・提供することでNPOを支援し、地域の活性化を図る。また、資源提供を通して、企業とNPOの新しい関係をつくり、地域社会に対する参加を促進する。</p> <p>1. みんみんファンド ・株式会社日専連ライフサービスより、NPOカードの拠金よりご寄付(82,605円)をいただいた。</p> <p>2. 物品提供 ・明治ホールディングス株式会社の株主よりお菓子の寄贈仲介 2021年12月、明治ホールディングス株式会社の株主より、CSR活動の一環として、 -障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体 -自然災害の被災地支援活動をしている団体(子どもを含む地域住民支援) -自然災害の広域避難者を支援している団体(子どもを含む地域住民支援) -東日本大震災の被災地支援、広域避難者支援をしている団体(子どもを含む地域住民支援) 上記に該当する団体へのお菓子寄贈プログラムに、認定特定非営利活動法人日本NPOセンターを通して下記の5団体へ提供の仲介を行った。(五十音順) •特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ •ARIママネット •清水沢東こどもカフェ •地球子屋(てらこや) •一般社団法人めるくまーる</p>	
成果	・新型コロナウイルス感染症予防対策を施しながら、活動が緩和されてきている様子をうかがえた。	
課題	・みんみんファンドの今後の運用に関して、継続検討。	
備考	1. ご寄付 : 株式会社日専連ライフサービス 2. 提供元 : 明治ホールディングス株式会社株主	

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進	第4条（活動の種類と事業）2項 (4) ネットワーキング事業 (5) 調査研究および政策提言事業
	他団体との連携による政策提言に関する事業		
全国のNPO支援センターとの連携のもと、政策提言に関する情報交換や進捗状況の共有などを行った。展開に応じて宮城県内、東北ブロックなど連携して推進している。			
<p>○NPO法人会計基準協議会 ○NPOの法制度等改革推進会議 ○民間NPO支援センター・将来を展望する会(CEO会議) 開催:2021年6月28日~29日、2022年2月9日</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の拡大により、NPOへの影響とその支援に関する動き ○「新型コロナウイルス」NPO支援組織社会連帯(CIS) 2020年4月16日に呼びかけがあり、趣旨に賛同。オンライン会議への参加。 2021年9月まで定例会が開催された。 [趣旨]新型コロナウイルスの影響が拡大する中、NPOへも大きな影響が出ている。経営面への影響と、支援活動へのニーズの拡大の両面があり、NPO自身も感染リスクを抑えながら、活動を行うことが求められている。一方で未知のリスクのため状況が流動的であったり、対策が固まっていない面もあり、NPOが求める情報を統一的に提供する仕組みが整備されておらず、迷いが生じている。 この困難な状況を乗り切るために、NPO支援センターがそれぞれの取り組みを持ち寄り、情報共有しながらNPO支援を充実させるためのプラットフォームをつくる。また、共同アクションやキャンペーンを通じて、全国のNPOが一丸となってお互いの活動継続や社会課題の解決を図ることを目指す。</p>			
<p>事業名</p> <p>分類</p> <p>(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進</p>			第4条（活動の種類と事業）2項 (5) 調査研究および政策提言事業
<p>名</p> <p>その他の支援事業</p> <p>○宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業 受益者アンケート業務</p> <p>[業務概要] 宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業では、国の事業を活用しながら、NPO等の非営利活動団体が行っている被災地の復興や被災地支援活動を支援している。 NPO等の復興・被災者支援の活動が今後も継続されるよう、NPO等の復興・被災者支援の活動に関する効果を把握するため、今年度、本事業を活用し行われている復興・被災者支援の活動について、活動を通じて支援を受けられた方(受益者)を対象としたアンケートを実施し、受益者の方々が支援を受けられたことによる効果などを把握するもの。</p> <p>[期間] 2021年11月～2022年3月</p> <p>[対象団体] 「令和3年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業」補助事業者9団体 ※ 回収されたアンケートを既定の集計表に取りまとめて提出した。</p>			
備考	委託元：宮城県		

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的活動の推進	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項 (1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業
	他団体との連携事業		
実施概要		<p>1. 「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」への参画 宮城県内における地域課題の解決、東日本大震災からの復興等に取り組むNPO等へのサポートの充実を図ることを目的として、株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業ほか全7機関は、2017年8月23日「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」を構築。当センターも構成団体として参画している。 [構成機関] 宮城県、仙台市、東北税理士会宮城県支部連合会、宮城県行政書士会、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、当センター、株式会社日本政策金融公庫国民生活事業(仙台支店第一事業、仙台支店第二事業、石巻支店、一関支店)</p> <p>2. みやぎ広域支援団体連絡担当者会議への参画 東日本大震災により沿岸市町を中心に支援活動を行っている団体の実務担当者による会議体。月1回開催。地域や分野ごとに異なる課題を共有し、県域課題の全体像を把握するなど情報共有等を行っている。当センターは、2017年より参加。 [構成団体] 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、みやぎ心のケアセンター、一般社団法人みやぎ連携復興センター、認定特定非営利活動法人地星社、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)、当センター オブザーバー:宮城復興局、復興庁、その他適時参加団体あり</p> <p>3. 防災・減災円卓会議への参画 「同じ犠牲を繰り返さない」「同じ混乱と苦悩を繰り返さない」ために自治体、研究機関、民間組織、企業、報道機関などが広く参加する会議。2018年度より例会へ参加。</p> <p>4. NPOサポートリンクへの参画 復興の先を見据えた連携による市民活動支援体制の構築に向けて2018年度より活動を始めたネットワーク。岩手、宮城、福島の県域、市町村域を超えた支援組織のネットワーク化により、より質の高いNPO支援が継続し、地域復興の支え手となることを目的としている。事業事務局は、特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター、特定非営利活動法人日本NPOセンターが担っている。2019年度からメンバー団体として多賀城市市民活動サポートセンターが、オブザーバーとして当センター、2020年度はメンバー団体として参加。リンクアップ会議、視察研修、勉強会、フォーラム等に担当スタッフ1名が継続参加し、内容に応じて他スタッフの参加を促した。2020年度は、最終年度であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3ヶ月延長。「とうほくNPOフォーラム in 南相馬 2020」が5月26日になり、完全オンラインで開催。</p> <p>5. 市民セクター全国会議 2021「変容すると市民活動の広がり」の地域実行委員会への協力 [日時]2021年11月26日(金)、27日(土) 26日 1)オープニング 変容する社会と市民活動の広がり 27日 2)セッション1 今だからこそ高めたい!地域のレジリエンス~しなやかさ×しぶとさ~ 3)セッション2 東北発 市民セクターのスクランプ&ビルト!!「つながりのデザイン」 4)セッション3 フォロワーとつくるまち 5)クロージング [主催]市民セクター全国会議 2021 実行委員会、認定特定非営利活動法人日本NPOセンター [共催]市民セクター全国会議 2021 宮城・仙台実行委員会 市民セクター全国会議 2021 新潟・上越実行委員会 市民セクター全国会議 2021 福岡・大牟田実行委員会 [会場]九州会場(27日のみ):大牟田市市民活動等多目的交流施設えるる(福岡県大牟田市) 東北会場(両日):仙台フォーラス even(宮城県仙台市) 北陸・信越会場(27日のみ):高田世界館(新潟県上越市)</p>	
備考			

事業名	分類	(2) 地域課題の発掘と解決に向けた具体的な活動の推進	定款 第4条（活動の種類と事業）2項 (1) 人材の発掘・育成に係る事業 (2) 相談・コーディネート事業 (3) マネージメントサポート事業 (4) ネットワーキング事業
	他団体との連携事業		
1. 令和3年度宮城県内における被災者支援コーディネート事業 宮城県内におけるコーディネート業務 [目的]		東日本大震災で被災した宮城県全域において、東日本大震災に伴う避難生活の長期化や、災害公営住宅等への移転など、被災者を取り巻く生活環境が変化し、多様化している。「被災者が一日も早く安定的でより良い日常生活を送ることができる」状況の獲得を目指し、復興の主体である被災者や被災者支援に取り組む多様な担い手（自治体・支援組織・企業等）による活動の推進を総合的に支援する。コーディネーターを設置し、本業務のより良い推進を図る。	
[内容]		<p>1) 被災者支援に取り組む多様な担い手の現状・課題の把握・整理 ① 被災者支援に取り組む多様な担い手（被災者・自治体・支援組織・企業等）への訪問・ヒアリング・連絡会議への参加等を通じた、現状・課題・ニーズ等の把握・抽出 ② 上記において把握したニーズの整理 等</p> <p>2) 被災者支援体制の構築・強化に向けたコーディネートの実施 ニーズとリソースのマッチング、サービス・社会資源の提供や必要な場づくり、講師・アドバイザー派遣の実施や研修会等への参加誘導、フォローなど、地域内の新たな活動主体の掘り起こし等、コーディネートの実施</p> <p>3) 事業推進に係る各種ミーティングへの参加</p> <p>4) 業務報告（月1回） 「案件シート」「月次報告書（月1回）」他、必要に応じて本事業に係る記録の作成。</p>	
[エリア担当]		宮城県内を下記の4エリアに設定。当センターは③エリアを分担し、エリアコーディネーター（ECD）のサポートをまた、多賀城市、仙台市の市民活動サポートセンターは協力団体として、ECDへの情報提供や活動相談を担っている。 ① 気仙沼南三陸、登米 ② 石巻、女川、東松島 ③ 多賀城、塩釜、七ヶ浜、松島、仙台 ④ 名取、岩沼、亘理、山元、丸森	
[構成団体]		認定特定非営利活動法人地星社、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、一般社団法人みやぎ連絡復興センター（申請主体）、当センターの4団体で構成している。	
2. 東日本大震災の教訓を活かした宮城県域のマルチセクター災害対応ネットワークの構築事業 [目的]		宮城県域における自治体域とセクターを超えた協働体制の構築により、大規模災害への対応能力の向上と、1組織、1団体では解決困難な地域課題に対して、マルチセクターで解決のアプローチを行うことである。定期的に多様なセクターで、地域資源や地域課題を共有し、課題の本質や解決へのアプローチを分析する。共通課題への対応能力を高める勉強会を共同開催するなどし、住民主体の課題解決をサポートする支援者の活動をサポートし、企画運営する広域支援団体間の信頼関係と連携の実績を積み上げる。	
[実施内容]		<p>① 定例会議の開催 定例会議は、11回開催。令和4年3月は定例会議予定日を勉強会に振り替えたため定例会議は未実施。 その他、有志によるワーキングチームによる打合せを行い、状況に応じてオンラインによる対応も随時行った。</p> <p>② 勉強会の開催 勉強会の実施主体を「みやぎ災害対応円卓会議（通称：みやまる）」として開催。準備の都合上、日程の変更が生じ、3月に開催が集中した。また、令和4年3月16日発災の福島県沖地震を受けて、緊急企画を検討し、急遽開催を決定したため、実施は4回となった。</p>	
[実施体制]		社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、みやぎ心のケアセンター、一般社団法人みやぎ連携復興センター、認定特定非営利活動法人地星社、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）、一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター、個人、当センター（申請事務局） ※オブザーバー：宮城復興局、復興庁	

実施概要	<p>〔勉強会の概要〕</p> <p>□第1回 日 時:令和3年10月28日(水)14:00～16:00 テーマ:災害と人権～災害時の侵されやすい人権とは～ 講 師:法律事務所ポラリス 弁護士 布木 綾氏 参加数:24名(会場17名、オンライン6名)</p> <p>□第2回 日 時:令和4年3月2日(水)14:00～16:00 テーマ:「緊急時の対人支援の原則PFAを学ぶ」 講 師:東北薬科大学 福地 成氏 参加数:27名(会場7名、オンライン20名)</p> <p>□第3回 日 時:令和4年3月22日(火)14:00～16:00 テーマ:「東日本大震災以降の災害対応～災害支援ネットワークおかやまから学ぶ～」 講 師:詩叶 純子氏 参加数:24名(会場5名、オンライン19名)</p> <p>□第4回 日 時:令和4年3月30日(水)18:00～19:00 テーマ:「福島県沖地震対応 被災者支援制度、地震被害対応勉強会」 話題提供:「罹災証明でできること」仙台弁護士会 小野寺 宏一氏 「雨漏り対応について」ピースボート災害支援センター 川村 勇太氏 「被災者のこころを支えるために」心のケアセンター 樋口 徹郎氏 参加数:41名(会場6名、オンライン35名) 動画記録:緊急みやまる勉強会フルver(99分) https://youtu.be/mxbxu6sU3V8 罹災証明でできること(14分) https://youtu.be/lObHBY_llZ8 雨漏り対応について(住民、ボランティアでできること)(18分) https://youtu.be/bijF8-qULf8 被災者の心を支えるために(11分) https://youtu.be/BtuQkzXvI-E</p>
備考	<p>1. 復興庁 2. 助成:宮城県共同募金会「参加と協働による新たな地域共生社会づくり支援事業」</p>

	分類 (4)情報発信事業	定款 第4条(活動の種類と事業) 2項 (6) 情報サポート事業														
事業名	1. ニューズレター「みんみん」 2. 書籍販売部みんみん堂 3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック) 4. 河北新報夕刊「志民の輪」への執筆・監修															
目的	1. センター概要と実施事業の進捗、成果について、会員や全国の中間支援組織などに伝える。 2. 本事業に加え、NPOセクターの動き、宮城県域での動きなどを市民へ伝える。															
	1. ニューズレター「みんみん」 スタッフによる広報チームを編成し、企画・執筆調整・編集等分担し、2020年度から発行を再開(A4両面2ページ)。配布対象は、当センター会員、仙台市市民活動サポートセンター、多賀城市市民活動サポートセンター等。発行部数は300部。															
実施概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th><th>発行日</th><th>主な内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115</td><td>2021年 4月 30 日</td><td>・巻頭言「価値規範を整え、これから」 ・第23回 通常総会のお知らせ ・「対話と、ともに考える」(常務理事・事務局長 青木ユカリ) ・インフォメーション「多セクターの連携『せんだい・みやぎソーシャルハブ』にぜひご参加ください」</td></tr> <tr> <td>116</td><td>7月 30 日</td><td>・巻頭言「第23回通常総会を終えて」 ・新任理事の紹介 ・イベント開催報告 多賀城市市民活動サポートセンター「おでかけミニ雑貨市」 ・インフォメーション「インターネット配信番組『いづいっちゃんねる』をぜひご視聴ください」</td></tr> <tr> <td>117</td><td>10月 30 日</td><td>・巻頭言「体制新たに、ともに」 ・副代表理事から一言 ・イベント開催報告① 多賀城市市民活動サポートセンター「TSR会議 2021」 ・イベント開催報告② 仙台市市民活動サポートセンター「ローカルメディアコンパスを体験しよう」</td></tr> <tr> <td>118</td><td>2022年 1月 31 日</td><td>・巻頭言「NPOの存在」 ・インフォメーション「『河北新報』月曜夕刊は『志民の輪』！」 ・イベント開催報告「市民セクター全国会議 2021」 ・インフォメーション「あなたの地区はどうしてますか？」(多賀城市的自治会・町内会の取り組み)</td></tr> </tbody> </table> <p>2. 書籍販売部みんみん堂 11種の書籍を取り扱っている。新刊の仕入れは行わなかった。</p> <p>3. ウェブ系情報発信(ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック) ①ホームページ :当法人主催および協力イベント情報やお知らせ。 ②ブログ :基本的に団体のフロー情報を掲載。リニューアル後、未活用のまま。 ③フェイスブック:講座やイベントの現在進行形の情報提供。メインターゲットは、フェイスブックユーザーとそのネットワーク。事業等の情報を随時投稿した。投稿数は 55。河北新報夕刊「志民の輪」への掲載内容の紹介や、自然災害による被災に応じて支援活動情報を拡散。発信の頻度度に応じて、リーチ数は上がり、ファン以外の反応が多くある。 ④ツイッター :ブログやホームページへの誘導ツール。リニューアル後は未活用。</p> <p>4. 河北新報夕刊「志民の輪」への執筆・監修 2019年4月より、河北新報夕刊月曜版に「志民の輪」が始まり、当センターと認定NPO法人杜の伝言板ゆると交互に隔週で担当している。 掲載内容は、特集記事「とびらを開く」では課題の見える化を、オピニオン「わたしの視点から」では、活動者や実践者の目線からの問題提起や読者への参加の呼びかけを、イベント・話題「ふみだす info」では読者の参加を促す情報を提供する3つのコーナーである。「とびらを開く」は、河北新報 ONLINE NEWS から見ることができる。 https://www.kahoku.co.jp/special/spe1179/index.html 編集体制は、理事・スタッフ、外部協力者の3~4名のチームで分担。半年1クールとして、体制を見直しながら取り組んでいる。</p>	No.	発行日	主な内容	115	2021年 4月 30 日	・巻頭言「価値規範を整え、これから」 ・第23回 通常総会のお知らせ ・「対話と、ともに考える」(常務理事・事務局長 青木ユカリ) ・インフォメーション「多セクターの連携『せんだい・みやぎソーシャルハブ』にぜひご参加ください」	116	7月 30 日	・巻頭言「第23回通常総会を終えて」 ・新任理事の紹介 ・イベント開催報告 多賀城市市民活動サポートセンター「おでかけミニ雑貨市」 ・インフォメーション「インターネット配信番組『いづいっちゃんねる』をぜひご視聴ください」	117	10月 30 日	・巻頭言「体制新たに、ともに」 ・副代表理事から一言 ・イベント開催報告① 多賀城市市民活動サポートセンター「TSR会議 2021」 ・イベント開催報告② 仙台市市民活動サポートセンター「ローカルメディアコンパスを体験しよう」	118	2022年 1月 31 日	・巻頭言「NPOの存在」 ・インフォメーション「『河北新報』月曜夕刊は『志民の輪』！」 ・イベント開催報告「市民セクター全国会議 2021」 ・インフォメーション「あなたの地区はどうしてますか？」(多賀城市的自治会・町内会の取り組み)
No.	発行日	主な内容														
115	2021年 4月 30 日	・巻頭言「価値規範を整え、これから」 ・第23回 通常総会のお知らせ ・「対話と、ともに考える」(常務理事・事務局長 青木ユカリ) ・インフォメーション「多セクターの連携『せんだい・みやぎソーシャルハブ』にぜひご参加ください」														
116	7月 30 日	・巻頭言「第23回通常総会を終えて」 ・新任理事の紹介 ・イベント開催報告 多賀城市市民活動サポートセンター「おでかけミニ雑貨市」 ・インフォメーション「インターネット配信番組『いづいっちゃんねる』をぜひご視聴ください」														
117	10月 30 日	・巻頭言「体制新たに、ともに」 ・副代表理事から一言 ・イベント開催報告① 多賀城市市民活動サポートセンター「TSR会議 2021」 ・イベント開催報告② 仙台市市民活動サポートセンター「ローカルメディアコンパスを体験しよう」														
118	2022年 1月 31 日	・巻頭言「NPOの存在」 ・インフォメーション「『河北新報』月曜夕刊は『志民の輪』！」 ・イベント開催報告「市民セクター全国会議 2021」 ・インフォメーション「あなたの地区はどうしてますか？」(多賀城市的自治会・町内会の取り組み)														

実施概要

掲載日	とびらを開く	わたしの視点から お名前／ご所属・役職(敬称略)	ふみだす info
2021/4/5	集落跡地 交流の場に いわぬまひつじ村	役割増す 地域の「つなぎ役」 伊勢みゆき NPO法人まなびのたねネットワーク 代表理事	・心を支える命の電話 ・月経の基礎知識 学ぶ ・動画でNPOを紹介
4/19	憩いの場 市民の手で 金剛沢緑地愛護協力会	歩いて探す地域の魅力 内山隆弘 市民団体「青葉山・八木山フットパスの会」事務局	・荒町ファン増やそう ・働き方 気軽に相談を ・子の心のケアを記録
5/10	ラインダンス広める NPO法人J-PAL	共通の思い認識 対立生まず 三浦友幸 一般社団法人プロジェクトアス 代表理事	・被災者の話 記念誌に ・マップで防災、観光も ・NPOの未来を語る
5/24	野菜 共に育て健康に NPO法人自然農食みやぎ	地域の連携 まずは情報交換 千葉和義 NPO法人Azuma-re 代表理事	・まちづくりで交流会 ・住民主体の見守りを ・社会奉仕 体験しよう
6/7	暮らし彩る花育てる 野々島ラベンダーJk&b	不登校の問題 官民で協議 田中雅子 NPO法人こども∞(むげん)感ばにー 代表理事	・動画で知る社会福祉 ・環境について学ぼう ・音楽家のサポートを
6/21	助け合い 交流も育む 学生団体はぐね	気候変動対策 宮城から推進 池沢美月 Fridays For Future Sendai 代表	・復興支援の10年回顧 ・発達障害の今を考察 ・認知症の家族支える
7/5	誰もが役割持ち交流 Open Village ノキシタ	障害者の学び 分け隔てなく 太斎京子 NPO法人奏海の杜	・「多様性尊重」を応援 ・存続運動の足跡紹介 ・防災・減災の考え共有
7/19	支援の棒を超えて交流も あらはまこども地域食堂	幅広い相談 全力で向き合う 織笠英二 仙台駆け込み寺 代表	・夜の八木山を照らす ・性への理解深めよう ・子どもの笑顔を応援
8/2	命守る教訓 次世代へ 一般社団法人「健太いのちの教室」	悩める若者の伴走者に 今野純太郎 認定NPO法人Switch	・映画の「その後」語る ・傷ついた女性支える ・被災後の福島 後世に
8/23	多様な学びの機会を ふとうこうカフェinせんだいみやぎ	支援につなぐきっかけ 必要 前野久美子 book cafe 火星の庭 店主	・古い写真の情報収集 ・少女亮春 経験伝える ・障害者の学びを応援
9/6	女性や子どもの力に mia forza(ミア・フォルツア)	ネットワークの構築 今こそ 西館和哉 一般社団法人みやぎ連携復興センター コーディネーター	・子どもらにXマスを ・子の不安 解消法学ぶ ・女性の悩み 聞きます
9/27	地元の安全 自ら守る まるもり女子重機隊	地域の魅力や宝 実は身近に 沖沢鈴夏 一般社団法人YOMOYAMA COMPANY所属 地域おこし協力隊 地域コーディネーター	・豊かな子育てを考える ・情報発信の指針学ぶ ・誰でもOKの公募展
10/11	情報提供で障壁除く NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台	おもてなしする方も楽しむ 村松淳司 グランディ・21 ボランティア委員会 キャプテン	・子どもの遊び後押し ・絵本で学び、語り合う ・被災地域の歴史記す
10/25	若者育て町を活性化 リフ超学校	学校以外の学ぶ機会 理解を 石川昌征 フリースクールだいと 代表	・政治の話題を気軽に ・仙台の街に響け 歌声 ・被災女性の支援学ぶ
11/8	海の文化 魅力高める つながる湾プロジェクト	身近な自然散策 一度体験を 及川綺 杜の日 森林セラピスト®	・子どもに舞台芸術を ・七北田宿の歴史学ぶ ・手話体験 交流深める
11/22	年代を問わず夢中に まつお文庫	市民と空港清掃 発見の連続 佐々木健二 西公園プレーパークの会 副代表	・育てた作物 味わって ・思いを共有 一歩前へ ・防寒着や食料 提供を
12/6	障害者との共生訴え みやぎアピール大行動実行委員会	セリで育む草の根運動 三浦隆弘 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON) 理事	・手作り雑貨 効率的 ・仕事の因ごと解決 ・貧困問題支援 協力を
12/20	社会的弱者の声拾う NPO法人ワールドオーブンハート	社会貢献活動 広報を支援 阿部かすみ 東北労働金庫 営業統括部地域共生課	・多様な性 安心の場を ・映画で世界見つめて ・夜間中学の映画上映
2022/1/17	越冬地保全で再飛来 シジュウカラガん守る「日本雁を保護する会」	市民と考える史都の未来 佐藤啓太 多賀城市生活環境課環境リサイクル推進係主事	・ジャズでコロナ克服 ・海外の正月 違い学ぶ ・学童保育の「食」指南
1/31	自給の価値学び發信 NPO法人森の美術館	快適さで選択 持続可能に 鈴木美紀子 東北環境パートナーシップ オフィス・チーフ	・震災後の東北 考える ・温暖化防止 調査探る ・貢献運河と文化学ぶ
2/14	東日本大震災 11年(とびらを開く拡大版) 森と人 一歩ずつ育む 仙台東部沿岸 緑再生プロジェクト 仙台市百年の杜推進課、仙台ふるさとの杜再生 プロジェクト連絡会議、仙台CATV	—	・家で歌って心身健康 ・子育てをもっと楽に ・移動支援活動知つて
2/28	東日本大震災 11年(とびらを開く拡大版) 再生途上の干渴 発信 蒲生を守る会、みちのくベントス研究所	—	・海岸清掃の様子 紹介 ・多様性尊重 活動15年 ・被災地の実情知つて
3/14	学びの場づくり大切 障害者の生涯学習を考えるフォーラム	共生社会へ人と人つなぐ 橋本勇人 仙台市生涯学習支援センター 主査兼社会教育主事	・「8050 問題」を考える ・被災地の変遷を撮影 ・心の相談員 目指そ

□ 2021年4月5日～2022年3月14日：23回掲載

成果	・ウェブ系情報発信においては、災害時や緊急的なアクションの発信は、フェイスブックの拡散が効果的であった。 ・河北新報夕刊「志民の輪」へ情報掲載した団体から、夕刊を見てのリアクションがあつたとの感想や連絡をいただいた。
課題	・PR戦略検討後の計画への落とし込みと体制の見直し ・ウェブサイトのリニューアルの検討 ・編集体制の補強
備考	自主事業

II. 講師派遣・各種委員会等

■講師派遣等

2021年度に講師派遣を行った主な講座・研修会は以下のとおりです。

内容	主催	開催地	開催日	担当
令和3年度学びを支える人材育成推進事業 「生涯学習応用研修」～広報企画研修～	仙台市生涯学習支援センター	仙台市	9月17日	松村
令和3年度岩沼市協働に関する職員研修会	岩沼市さわやか市政推進課	岩沼市	10月26日	太田

■各種委員会等

2021年度に委嘱等を受けた主な委員会は以下のとおりです。

委員会名	主催	任期	担当
宮城県民間非営利活動促進委員会 委員	宮城県 共同参画社会推進課	2019年12月1日～ 2021年11月30日	青木
宮城県民間非営利活動促進委員会 拠点部会委員	宮城県 共同参画社会推進課	2019年12月1日～ 2021年11月30日	青木
宮城県地域包括ケア推進協議会 コミュニティ・生活支援専門委員会	宮城県 長寿社会政策課	2017年4月1日～	青木
宮城県情報公開審査会 委員	宮城県 総務部県政情報・文書課	2020年10月1日～ 2022年9月30日	青木
みやぎボランティア総合センター 運営委員会 委員	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会	2020年6月15日～ 2022年3月31日	青木
仙台市市民協働事業提案制度 プロジェクト検討会	仙台市 市民協働推進課	2016年4月1日～	青木
仙台市経営戦略会議 委員	仙台市 行財政改革課	2020年4月1日～ 2022年3月31日	青木
仙台市環境審議会 委員	仙台市 環境局環境部環境企画課	2020年4月1日～ 2022年3月31日	青木
仙台市市民文化事業団 理事	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2018年6月21日～ 2020年度定時評議員会	青木
「仙台市文化プログラム」事業 審査委員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2017年11月1日～	青木
仙台市共同募金委員会 運営委員	社会福祉法人仙台市共同募金委員会	2021年4月1日～ 2022年3月31日	青木
名取市協働事業審査会 委員	名取市 男女共同・市民参画推進室	2019年11月1日～ 2021年10月31日	青木
東北ろうきん復興支援助成金制度 選考委員会 選考委員	東北労働金庫	2016年10月27日～	青木

委員会名	主催	任期	担当
公益財団法人地域創造資金さなぶり評議員	公益財団法人地域創造資金さなぶり		青木
2021年度全労済地域貢献助成事業審査委員会 審査委員	全労済		青木
みやぎNPO情報公開システム運用協議会 運営委員会委員	みやぎNPO情報公開システム運用協議会事務局	2020年4月1日～ 2021年3月31日	渡邊
みやぎNPOプラザ運営評議会委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	2019年4月1日～ 2022年3月31日	青木
公益財団法人仙台市建設公社評議員	公益財団法人仙台市建設公社	令和2(2020)年度事業に関する提示評議員会終結時後～令和6(2024)年度事業に関する提示評議員会終結持まで	青木
公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 評議員	公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)	第9期(2019年)～	青木
仙台市市民活動サポートセンター事務用ブース審査委員	仙台市 市民協働推進課	任期なし	太田
仙台市社会福祉協議会評議委員	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	2021年6月24日～ 2024年度に関する定期評議員会の終結の時まで	太田
EPO東北パートナーシップ団体	東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)	任期なし	太田
いわぬま市民交流プラザ運営協議会委員	岩沼市 総務部さわやか市政推進課	2021年11月16日～ 2022年3月31日	太田
杜の都の市民環境教育・学習推進会議 委員	杜の都の市民環境教育・学習推進会議	2020年5月24日～ 2022年5月23日	太田
若者版・市民協働事業提案制度審査員	仙台市 市民局市民協働推進課	任期なし	太田
みやぎNPOプラザ事務室使用団体選考審査会 選考委員	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる	随時	太田 中津
多賀城市都市計画審議会委員	多賀城市 建設部都市計画課	2020年8月1日～ 2022年7月31日	中津
多賀城市環境審議会委員	多賀城市 市民経済部生活環境課	2021年3月20日～ 2023年3月19日	中津
仙台市市民文化事業団助成事業 令和3年度支援・助成・協力事業 活動助成事業 審査員	公益財団法人仙台市市民文化事業団	任期なし (2021年8月23日)	松村
仙台市市民文化事業団助成事業 事業モニター	公益財団法人仙台市市民文化事業団	2021年12月17日～ 2022年3月31日	松村
公益財団法人仙台観光国際協会市民国際交流事業補助金審査会 審査員	公益財団法人仙台観光国際協会	2021年4月1日～ 2023年3月31日	松村

III. 法人の運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

第 23 回通常総会

日 時：2021 年 6 月 13 日（日）14：00～15：30

会 場：エル・パーク仙台 セミナーホール 1・2

出席者数：出席 18 名（内訳 会場 11 名 オンライン 7 名）

委任状 17 名 書面評決 2 名 合計 37 名

（定足数は、正会員の過半数。正会員数 62 名）

議 事：第 1 号議案 2020 年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）の承認

第 2 号議案 2021 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の審議・決定

第 3 号議案 定款変更について

第 4 号議案 理事の退任と新任について

(2) 理事会の開催

年度内回数	通算回数	日時	主な内容
1	253	2021 年 5 月 17 日（月）	総会の開催方法について、理事の退任と新任候補について。定款の変更について、2020 年度事業報告・収支決算案、2021 年度事業計画・収支予算案について、評議員会について、その他、報告事項
2	254	6 月 13 日（土）	通常総会の議事について、会員入退会者の承認について、総会の進行等について、定款変更後の理事会の招集について、報告事項
3	255	9 月 17 日（金）	副代表理事の選任について、新中期計画の策定について、会員入退会者の承認について、
4	256	12 月 13 日（月）	新中期経計画策定の進捗について、会員入退会者の承認について、報告事項

※2022 年 3 月 31 日現在／理事・監事・顧問・参与（順不同、敬称略）

代表理事（1名）：渡邊一馬

副代表理事（2名）：高橋由佳 原亮

理 事（6名）：大滝精一 石井山竜平 大橋雄介 斎藤和人 福井大輔
青木ユカリ（常務理事）

監 事（3名）：沼倉雅枝 長谷川公一 茂木宏友

顧 問（2名）：川村志厚 山田晴義

参 与（1名）：江崎正彰

(3) 評議員会

2021 年度は開催なし。

(4) 会員について

2021年3月期：会員数 105人・団体

2022年3月期：会員数 84人・団体

(5) 事務局について

① 人員体制（2022年3月31日現在）

○せんだい・みやぎNPOセンター本部事務局（仙台市青葉区国分町）

代表理事：渡邊一馬

事務局長：青木ユカリ

常勤職員：鶴巻さやか

派遣職員：今村順子

○仙台市市民活動サポートセンター（仙台市青葉区一番町）

センター長：太田貴

副センター長：菅野祥子、松村翔子

常勤職員：松田照子、水原のぞみ、堀隆一、鈴木美紀、小田嶋くるみ、大坪晃亮、伊藤佐知子、大泉さんご、平井祥子

非常勤職員：小林正夫、橋本昭正、于楽、宮崎真央、矢野則子、鳩村威臣、平野昭、高橋正隆

シアター業務委託スタッフ：本儀拓、山澤和幸、足立友恵

○多賀城市市民活動サポートセンター（多賀城市中央）

センター長：中津涼子

副センター長：川口葉子、渡辺剛

常勤職員：斎藤裕之、小林雅子、西城香織、金子明日香、勝井万智、小笠原弘幸

非常勤職員：浅野美幸、佐藤環

② 会議

<管理職会議>毎月1回程度

参加者：常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長

代表理事：オブザーバー参加

内 容：本部、サポートセンター業務や事業における情報共有、事業や運営に関する事項の検討など

実 施：毎週火曜日開催、12回実施した。

2021年4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、8月17日、9月21日、

10月19日、11月16日、12月21日、2022年1月18日、2月15日、3月15日

<センター会議>

参加者：全職員、代表理事、事務局長

内 容：価値規範の進捗の確認、新中期計画策定に伴うワークショップ、情報共有など

実 施：水曜開催、7回実施した。

2021年7月28日、8月25日、9月22日、10月27日、12月22日、

2022年1月26日、3月23日

※その他、各拠点において全体ミーティング、ケースミーティング、班およびチームミーティング、所管課との四半期ミーティングを開催した。

<スタッフ面談>

参加者：常務理事、事務局長、職員

内 容：2回開催した。その他、個別状況に応じて常務理事、事務局長、サポートセンター正副センター長と職員との面談を重ねて対応した。

2021年7月5日～20日：新年度体制に関すること

12月4日～12月25日：次年度に向けての意向確認等

今後のキャリア志向や問題意識など

(6) 職員研修

外部研修への参加を促した。新型コロナウィルス感染拡大防止の影響により開催方法がオンライン対応となり、開催地と問わず日程の調整次第では、参加しやすくなった。一方主催側や参加者同士の交流などは難しい側面もあった。

研修名	主催	日程	参加
NPO支援財団研究会 2021 WEBシンポジウム 「ポスト・コロナ時代に向けた助成財団とNPOとのパートナーシップを考える」	NPO支援財団研究会	2021年 4月23日（金）	4名
中間支援組織・支援センター役職員合同研修 2021 「地域と市民の力を信じて引き出す。参加と事業の持続と成長を支えられる支援者であるために。」	中国5県中間支援組織連絡協議会	4月25日（日）、 26日（月）	3名
震災フォーラム「10年を節目にしない ここから始まる伝承のみらい」	3.11メモリアルネットワーク	5月23日（日）	1名
とうほくNPOフォーラム in 南相馬 2020「復興の先を見据えて 変化する社会にNPOはどう対応するのか」	とうほくNPOフォーラム in 南相馬 2020 実行委員会	5月26日（水）	7名
NPOと行政の対話を促進するための基礎講座	NPO法人日本NPOセンター	6月2日（水）、 25日（金）	3名
「市民のための『法人格』研究」セミナー	社会福祉法人大阪ボランティア協会	6月4日（金）	1名
行政職員のためのNPO理解講座	みやぎNPOプラザ	7月9日（金）	1名
Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs 20周年記念シンポジウム・ワーク「NPO/NGOの組織基盤強化を考える4日間～社会変革を生み出せる組織へ」	パナソニック株式会社	7月12日（月）、 13日（火）、 15日（木）	5名
NPOの知らせる力プロジェクト「書き手講座」	Yahoo!基金	8月20日（金）、 9月10日（金）	2名
つなぎめ講座	生涯発達支援塾TANE	8月22日（日）、 10月17日（日）、 12月19日（日）、	1名

		2月 20 日(日)	
ボランティアコーディネーター研修「地域活動者やボランティアの想いを最大限に引き出すコーディネートの秘訣」	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	8月 24 日 (火)	2名
災害ボランティアセンター応援スタッフ養成研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	9月 21 日 (火)	1名
宮城県視覚障害者情報センター出前講座「視覚障害の基礎知識と支援について」	多賀城市文化センター	9月 27 日 (月)	2名
多賀城市社会福祉協議会法人化 50 周年記念講演会 「単身化社会にむけた市民創造型の共生社会づくり」	社会福祉法人多賀城市社会福祉協議会	9月 28 日 (火)	1名
緊急企画 311 変える会からの提言～被災者支援制度を考えるつどい	3. 11 から未来の災害復興制度を提案する会	9月 28 日 (火)	1名
社会的養護の子どもたちの現状と自立支援についての学習会	N P O 法人チャイルドラインみやぎ	9月 29 日(水)	1名
ボランティアコーディネーター研修「コロナ禍におけるボランティアコーディネーションの意義やファンドレイジングについて学ぶ」	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	10月 12 日 (火)	1名
災害ボランティアセンター体験研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	10月 14 日 (木)	1名
S D G s 市民カレッジ特別講座	S D G s 市民カレッジ特別講座実行委員会	10月 21 日 (木)、 25 日 (月)	2名
N P O 法人に求められるデジタル手続きを考える勉強会	N P O 法人日本N P Oセンター	10月 29 日(木)	1名
特定非営利活動法人日本N P Oセンター25th アニバーサリー「未来へのメッセージ&シンポジウム」	N P O 法人日本N P Oセンター	11月 23 日 (火)	1名
市民セクター全国会議 2021 「変容する社会と市民活動の広がり」	市民セクター全国会議 2021 実行委員会	11月 26 日 (金)、 27 日 (土)	4名
N P O 法人 Switch 10 周年感謝祭	N P O 法人 Switch	11月 27 日 (土)	1名
東日本大震災で育まれたレジリエンス 受け継がれるバトン	特定非営利活動法人いわて連携復興センター、一般社団法人みやぎ連携復興センター、一般社団法人ふくしま連携復興センター 他	11月 30 日 (火)	1名
被災者支援アドバイザー研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	12月 3 日 (金)	1名
みやぎN P O プラザ 20 周年記念フォーラム「みやぎのN P O～これまでの 20 年とこれから歩み～」	みやぎN P O プラザ	12月 5 日 (日)	1名
中高生の“第三の居場所”について考える	仙台市子育てふれあいプラザのびすく泉中央	12月 10 日(金)	1名
舞台スタッフラボ 2021	演劇工房 10-BOX	2022 年 2月 5 日(土)～ 12 日(土)	1名
N P O 支援施設フォローアップ事業人材育成研修 「協働を成功に導くプロセスを学ぶ」	みやぎN P O プラザ	2月 17 日 (木)	2名
市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2022	N P O 法人日本ボランティアコーディネーター協会	2月 23 日 (水)、 26 日 (土)、 27 日 (日)	1名
仙台市環境行動計画一般研修/庁舎施設管理研修	仙台市環境局	3月 9 日(水)	18 名
宮城県プロボノ普及啓発セミナー～プロボノで見つけたもう一つの居場所～	宮城県環境生活部共同参画社会推進課 N P O ・協働社会推進班	3月 24 日 (木)	2名

IV. 2021 年度 決算報告書

- 活動計算書
- 貸借対照表
- 財産目録
- 計算書類の注記、事業費の内訳
- 監査報告書

活動計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎN P Oセンター

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	330,000		
賛助会員受取会費	80,000	410,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,364,988	1,364,988	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	390,957	390,957	
4. 事業収益			
事業収入	2,911,743		
仙台市S C指定管理	89,657,371		
多賀城市S C委託	37,895,460	130,464,574	
5. その他収益			
受取利息	482		
雑収入	5,731	6,213	
経常収益計			132,636,732
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	81,715,740		
法定福利費	11,695,657		
通勤費	3,510,362		
福利厚生費	367,971		
人件費計	97,289,730		
(2) その他経費			
期首棚卸高	49,581		
合計	49,581		
期末棚卸高	△ 49,581		
売上原価	0		
業務委託費	3,372,500		
諸謝金	1,061,916		
印刷製本費	1,651,889		
打合会議費	43,741		
旅費交通費	165,866		
車両費	15,885		
通信運搬費	2,093,088		
消耗品費	1,758,818		
広告宣伝費	166,000		
保守・修繕費	2,552,107		
水道光熱管理費	9,286,313		
地代家賃	1,871,234		
保険料	46,606		
諸会費	105,600		
租税公課	2,800		
支払手数料	455,402		
資料収集費	278,030		
外注費	3,909,417		
リース代	3,286,788		
会場費	86,402		
スタッフ研修費	32,273		
雑費	127,522		
その他経費計	32,370,197		
事業費計		129,659,927	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	234,520		
法定福利費	13,851		
人件費計	248,371		
(2) その他経費			
打合会議費	5,202		
通信運搬費	13,607		
地代家賃	67,967		
支払手数料	3,878		
会場費	17,018		

	107,672	
	356,043	
		130,015,970
		2,620,762
		0
III 経常外収益 経常外収益計		
IV 経常外費用 経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		2,620,762
法人税、住民税及び事業税		72,000
当期正味財産増減額		2,548,762
前期繰越正味財産額		42,327,639
次期繰越正味財産額		44,876,401

貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,536,781		
未収金	11,367,460		
棚卸資産	49,581		
前払費用	19,720		
立替金	222,738		
流動資産合計		65,196,280	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	1		
有形固定資産計	1		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	849,600		
長期前払費用	6,685		
投資その他の資産計	856,285		
固定資産合計		856,286	
資産合計			66,052,566
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,003,307		
未払消費税等	2,510,800		
未払法人税等	72,000		
賞与引当金	7,586,482		
預り金	3,003,576		
流動負債合計		21,176,165	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			21,176,165
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	42,327,639		
当期正味財産増減額	2,548,762		
正味財産合計		44,876,401	
負債及び正味財産合計			66,052,566

財産目録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
【流動資産】	
(現金)	
本部	74,636
仙台SC	61,682
多賀城SC/コピー機	53,070
多賀城SC	77,563
(現金) 合計	266,951
(預金)	
仙台銀行/中央通支店 普通預金	36,482,722
仙台銀行/中央通支店 普通預金	11,803,769
仙台銀行/中央通支店 普通預金	100
杜の都信用金庫/中央支店 普通預金	164,407
東北労働金庫/本店 普通預金	258,636
東北労働金庫/本店 普通預金	2,047,516
(預金) 合計	50,757,150
(郵振)	
郵便振替 02260-3-16325	2,512,680
(郵振) 合計	2,512,680
(未収金)	
多賀城市市民活動センター運営等業務委託料1~3月分	10,421,250
その他	946,210
(未収金) 合計	11,367,460
(棚卸資産)	
書籍	49,581
書籍 計	49,581
(前払費用)	
サイボウズ㈱/Kintoneスタンダードチーム応援ライセンス2022.5~1年分他	19,720
前払費用 計	19,720
(立替金)	
概算雇用保険料	212,238
SSC非常勤 本儀/住民税・みんみん立替	10,500
立替金 計	222,738
流動資産 合計	65,196,280
【固定資産】	
(有形固定資産)	
什器備品	1
有形固定資産 計	1
(投資その他の資産)	
敷金	849,600
敷金 計	849,600
あいおいニッセイ同和損害保険㈱/長期火災保険	6,685
長期前払費用 計	6,685
固定資産 合計	856,286
資産の部 合計	66,052,566
II 債負の部	
【流動負債】	
(未払金)	
人件費	8,003,307
社会保険料	(4,077,756)
水道光熱費	(863,196)
外注費	(1,088,087)
その他	(498,300)
未払消費税等	(1,475,968)
未払法人税等	2,510,800
賞与引当金	72,000
(預り金)	7,586,482
報酬源泉所得税	3,003,576
雇用保険料	(5,208)
みんみん本体ファンド	(230,889)
仙台SC利用者コピー料金回収	(2,511,505)
あじさい基金	(53,070)
流动負債 計	(202,904)
合計	21,176,165
【固定負債】	
固定負債 計	0
負債の部 合計	21,176,165
正味財産	44,876,401

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は別表の通りです。

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,777,139	1
合計	1,777,140	0	0	1,777,140	△ 1,777,139	1

事業費の内訳

(単位:円)

	定款(1)	定款(2)	定款(3)	定款(4)	定款(5)	定款(6)	定款(7)	事業費合計
	人材の発掘・育成	相談とコーディネート	マネージメントサポート	ネットワーキング	調査研究及び政策情報サポート	情報サポート	施設運営	
従事者の人数(実施した人數)	7	5	3	5	4	8	38	70
受益対象者の範囲	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	県内・隣接県の居住者	主に仙台・多賀城の市民	
受益対象者の人数	300	250	200	500	200	60,000	73,000	134,450
給料手当	702,595	735,400	216,550	216,550	43,310	555,713	79,245,622	81,715,740
法定福利費	111,471	34,628	34,628	34,628	6,925	88,679	11,384,698	11,695,657
通勤費	30,182	31,591	9,303	9,303	1,861	23,872	3,404,250	3,510,362
福利厚生費	3,164	3,312	975	975	195	2,502	356,848	367,971
人件費計	847,412	804,931	261,456	261,456	52,291	670,766	94,391,418	97,289,730
業務委託費	180,276	194,079	159,077	285,498	36,083	226,781	2,290,706	3,372,500
諸謝金	0	0	0	77,896	0	97,111	886,909	1,061,916
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	1,651,889	1,651,889
打合会議費	0	0	6,000	9,809	0	1,170	26,762	43,741
旅費交通費	5,781	0	382	50,583	0	8,955	100,165	165,866
車両費	1,091	1,527	0	0	0	0	13,267	15,885
通信運搬費	518	0	0	52,905	0	43,828	1,995,837	2,093,088
消耗品費	51,737	51,737	51,737	74,443	51,737	51,737	1,425,690	1,758,818
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	166,000	166,000
保守・修繕費	0	0	0	0	0	0	2,552,107	2,552,107
水道光熱管理費	34,540	34,540	34,540	34,540	34,540	34,540	9,079,073	9,286,313
地代家賃	16,992	16,992	16,992	16,992	16,992	16,993	1,769,281	1,871,234
保険料	2,226	2,226	2,226	2,226	2,226	2,226	33,250	46,606
諸会費	0	0	0	0	0	0	105,600	105,600
租税公課	0	0	0	0	200	0	2,600	2,800
支払手数料	0	0	200	900	0	500	453,802	455,402
資料収集費	10,548	10,548	10,548	10,548	10,548	10,548	214,742	278,030
外注費	0	0	0	0	0	0	3,909,417	3,909,417
リース代	0	0	0	45,000	0	0	3,241,788	3,286,788
会場費	0	0	4,364	57,910	0	727	23,401	86,402
スタッフ研修費	0	0	1,364	0	0	0	30,909	32,273
雑費	0	0	0	0	0	90,000	37,522	127,522
その他経費計	303,709	311,649	287,430	719,250	152,326	585,116	30,010,717	32,370,197
事業費合計	1,151,121	1,116,580	548,886	980,706	204,617	1,255,882	124,402,135	129,659,927

2021年度 監査報告書

特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
代表理事 渡邊一馬様

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算について監査を行いました。

監査の方法として、重要な会議の議事録その他重要書類を閲覧するほか、理事から事業の報告を聴取し、合理的な保障を得るための手続きを実施いたしました。

監査の結果、2021年度の特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターの決算については適正なものと認めます。

2022年 6月 7日

監事 長谷川 公一

監事 戸木宏友

監事 沼倉雅枝

特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町1-8-10 大和ビル4F

TEL 022-264-1281 FAX 022-264-1209

URL <http://www.minmin.org> E-mail minmin@minmin.org



特定非営利活動法人
せんだい・みやぎNPOセンター